

## 実技検査の受け方

### 情報技術科

- 1 指示があるまで、下の問題用紙を見てはいけません。
- 2 指示があったら、問題用紙（7枚）を全部調べなさい。  
問題用紙はすべてオモテだけに印刷してあります。もし、枚数が足りなかったり、やぶれていたり、印刷のわるいところがあったりした場合は、手をあげて監督の先生に言いなさい。
- 3 この実技検査では、問題用紙の条件や指示に従ってパソコンを操作し、文書を作ります。作った文書は、USBメモリに保存した後、プリンタで印刷して提出します。プリンタでの印刷は、検査が終わってから監督の先生の指示に従って行いますから、検査中に印刷してはいけません。
- 4 検査時間は30分です。残り5分になったときに、監督の先生から連絡がありますから、検査中に時間をたずねてはいけません。
- 5 保存のしかたやプログラムの使い方の説明は、問題用紙の中にあります。
- 6 作業が終わっても、プログラムを終了してはいけません。
- 7 検査中になにか困ったことがあった場合は、手をあげて監督の先生に言いなさい。
- 8 早く終わった人は、終了の指示があるまで静かに待っていなさい。

## 問題用紙

### 情報技術科

- 【1】 下の文章を、ワープロソフト「ワードパッド」を使って入力しなさい。

受検番号：〇〇〇〇

1行目から

PLCによる制御

皆さんの身の回りでは、ワンチップマイコンやパソコン、PLCなどさまざまなコンピュータが使われている。その中でも特に、工場などの生産現場でよく使われているのが、PLCと呼ばれるものである。今回は、この比較的誰にでも簡単に扱える機械制御用のコンピュータをとりあげてみることにする。このPLCは、ラダープログラムという簡易言語でプログラムされ、複雑な動作を実現することができる。たとえば、ある信号機では、歩行者用の押しボタンスイッチを押すことによって、一定時間後に、自動車側の信号を赤にして歩行者が横断歩道を渡れるようになる。図1は、ラダー図と呼ばれ、専用ソフトでプログラムに変換される。

#### 操作方法の例

- (1) 画面左下のタスクバーの「ワードパッド」のアイコンをクリックしてファイルを開きます。
- (2) 日本語入力のオン・オフは、キーボード左上にある右の図のキーで切り替えます。最初、日本語入力はオフになっています。
- (3) 受検番号記入の「:」の後に、受検番号を入力します。
- (4) 文章を入力します。
- (5) 入力を間違えた時などは、画面左上の「元に戻す」のボタンをクリックすることでやり直すことができます。

ワードパッド

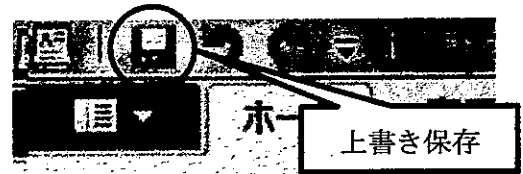


半角/  
全角  
漢字

元に戻す



- (6) 入力が終わったら、画面左上の「上書き保存」のボタンをクリックして保存します。



画面右上の×ボタンをクリックしないように気を付けなさい。

- 【2】 【1】で入力した文章を、用紙の設定をA4縦、余白は、上20mm、下20mm、左35mm、右35mmとして例のような文書に編集しなさい。また、文中のカタカナには全て下線を引きなさい。

ただし、指定されたフォント以外はMS明朝11ポイントとしなさい。

例

中央揃え MSゴシック  
26ポイント

右揃え

受検番号：〇〇〇〇

## PLCによる制御

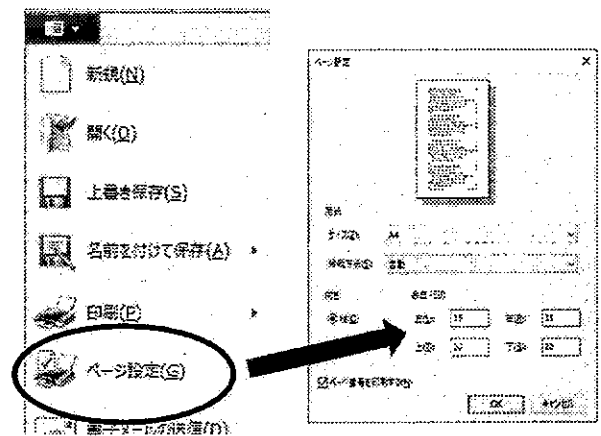
皆さんの身の回りでは、ワンチップマイコンやパソコン、PLCなどさまざまなコンピュータが使われている。その中でも特に、工場などの生産現場でよく使われているのが、PLCと呼ばれるものである。今回は、この比較的誰にでも簡単に扱える機械制御用のコンピュータをとりあげてみることにする。このPLCは、ラダープログラムという簡易言語でプログラムされ、複雑な動作を実現することができる。たとえば、ある信号機では、歩行者用の押しボタンスイッチを押すことによって、一定時間後に、自動車側の信号を赤にして歩行者が横断歩道を渡れるようになる。

図1は、ラダー図と呼ばれ、専用ソフトでプログラムに変換される。

## 操作方法の例

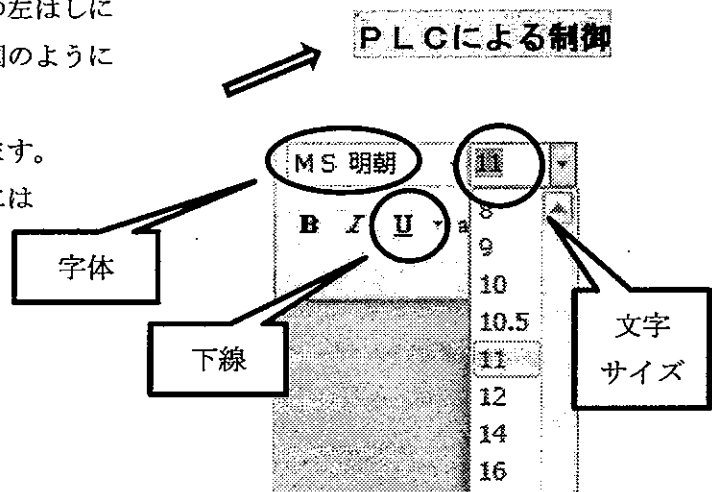
### (1) 用紙サイズの設定

- ① メニューから「ページ設定」を選びます。
- ② 余白を設定します。
- ③ OKをクリックします。



### (2) 字体、文字サイズ、下線、行の配置の変更方法

- ① マウスポインタを変更したい行の左はしにあわせてクリックすると、右の図のように反転表示されます。
- ② 目的の字体、文字サイズを選びます。また、文字列に下線を引く場合には右図の下線を使います。



- ③ 右図のボタンから配置を選んでクリックします。



- (3) 編集が終わったら、画面左上の「上書き保存」のボタンをクリックして保存します。  
画面右上の×ボタンをクリックしないように気をつけなさい。

- 【3】 下のような図を描画ソフト「ペイント」を使ってかきなさい。また、かいた図を【2】で作成した文書に貼り付けなさい。図に使用する字体や文字のサイズ、線の太さは問いません。

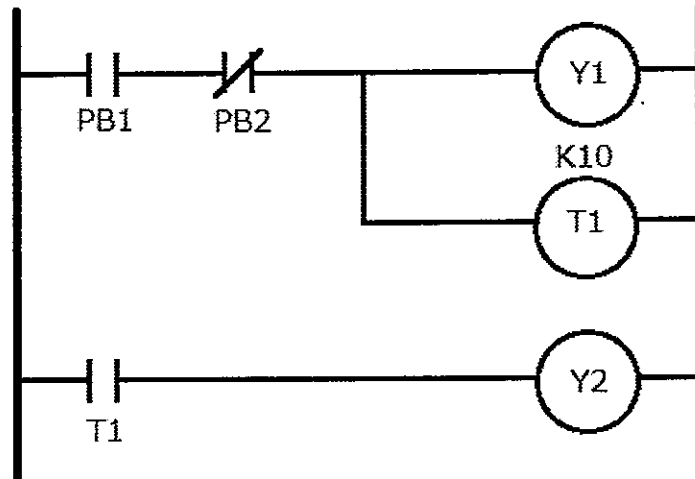
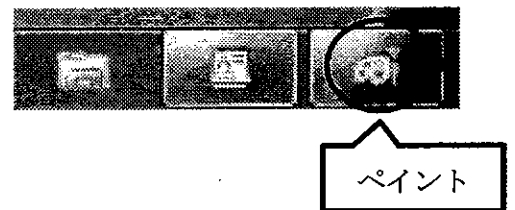


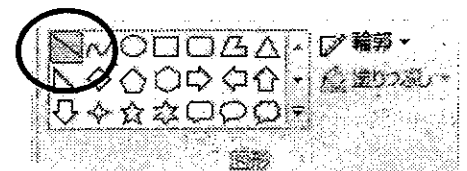
図1 ラダー図

操作方法の例

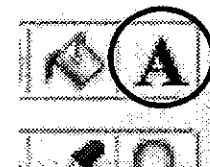
- (1) 画面左下のタスクバーの「ペイント」のアイコンをクリックしてファイルを開きます。



- (2) 水平・垂直な直線を引くにはメニューの図形から直線を選択し、シフトキーを押したまま直線を引きます。



- (3) 文字を入力するには、ツールから **A** を選択します。

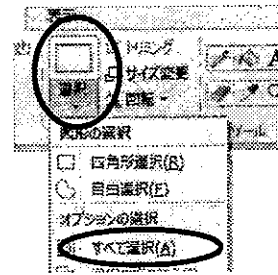


- (4) 文字を入力したい場所をクリックし、文字のサイズや種類を選択します。

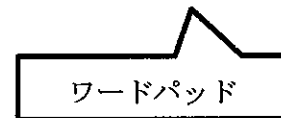
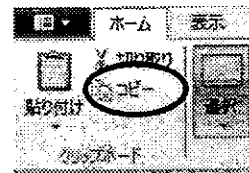
- (5) 描画が終わったら、画面左上の「上書き保存」のボタンをクリックして上書き保存します。

(6) 図のコピーと貼り付け

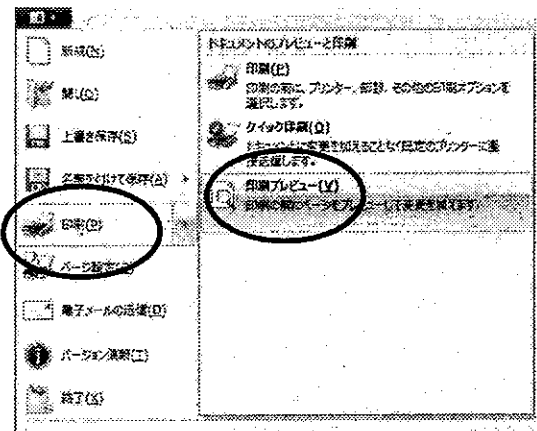
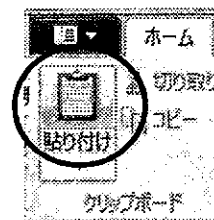
- ① 画面左上の「選択」の下にある「▼」をクリックします。
- ② 開いたメニューから、「すべて選択」を選んでクリックします。
- ③ 画面左上の「コピー」をクリックします。



- ④ 作業が終わったら、「ワードパッド」のアイコンをクリックします。

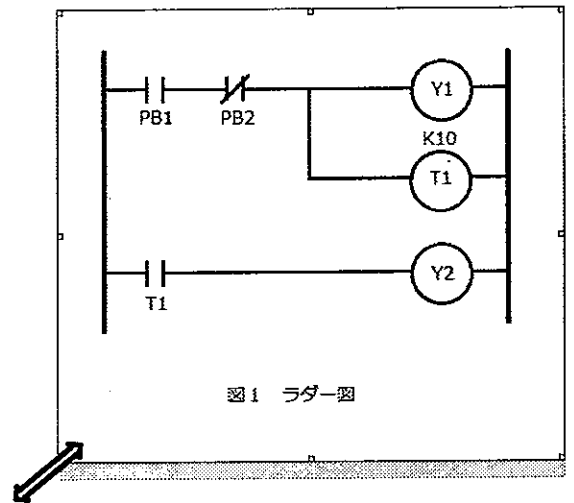


- ⑤ 図を挿入する行にカーソルを合わせます。  
(位置は7ページの完成した文書を参照)
- ⑥ 画面左上の「貼り付け」のボタンをクリックして画像を貼り付けます。
- ⑦ 画像の「貼り付け」が完成しているかを確認します。メニューから印刷を選択し、その中から印刷プレビューを選択し、A4サイズ1ページに文書が全ておさまっているかを確認します。



- ⑧ 文書が2ページになった場合は貼り付けをした画像の大きさを調整して1ページにおさまるようにします。

画像の部分をクリックすると右の図のように選択されます。角を選択するとマウスポインタの形が変化するので、そのままドラッグして画像の大きさを変えます。



## PLCによる制御

皆さんの身の回りでは、ワンチップマイコンやパソコン、PLCなどさまざまなコンピュータが使われている。その中でも特に、工場などの生産現場でよく使われているのが、PLCと呼ばれるものである。今回は、この比較的誰にでも簡単に扱える機械制御用のコンピュータをとりあげてみることにする。このPLCは、ラダープログラムという簡易言語でプログラムされ、複雑な動作を実現することができる。たとえば、ある信号機では、歩行者用の押しボタンスイッチを押すことによって、一定時間後に、自動車側の信号を赤にして歩行者が横断歩道を渡れるようになる。

図1は、ラダー図と呼ばれ、専用ソフトでプログラムに変換される。

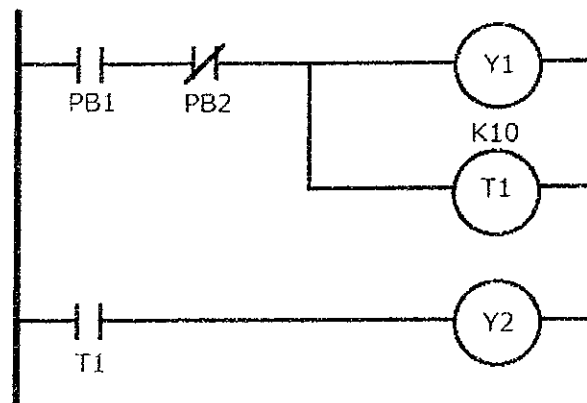


図1 ラダー図

- (7) 全てが終わったら、「ワードパッド」の画面左上の「上書き保存」のボタンをクリックして保存します。画面右上の×ボタンをクリックしないように気を付けなさい。

※以上で終了です。早く終わった人は、終了の指示があるまで静かに待っていなさい。